

「久しぶり、元気？」 4作業所大集合

ふたつの輪

2月16日合同レクリエーションを行い、トミコシ高島平ボウルにて**ボウリング大会**を開催
ガターの有無で参加部門を分け、それぞれ1ゲーム目の得点で優勝が決まります



久しぶりに会えた人、実習生で初めての人、あまり話したことのない人が集まり、色々なチームができました。
ゲームが始まるとストライクやたくさんピンが倒れる度「おおお！」「すごいー！」などのかけ声があり、席に戻りつつハイタッチをしていました。
ボウリングが上手い人は1本でも多く倒して「今年こそ！」と意気込み、ボウリングが久しぶりな人は「投げるのが楽しい」と笑顔で投球し、得点重視派の人は「なんで最後に曲がるの！」と悔しがったり、独自の研究で「三角にあわせると真っ直ぐに行く」「重いボールの方がいい」と言っていました。



今回優勝したのは、ガター無し部門では、とくまる作業所のKさん。大会前から「絶対負けないから！」と意気込んでいました。
優勝者コメント「初めて優勝しました。ボールを投げてたくさん倒しました。余暇活動でもボウリングを練習してお母さんともボウリングに行きました。賞状をお母さんとお父さんとお姉ちゃんに見せました。」
ガター防止の柵のないレーン部門での優勝は、とくまる作業所のIさん。大会にも出場経験があり、ボウリンググローブをつける姿がプロのようにカッコいい方です。
優勝者のコメント「優勝できてよかった。得点を見ながら、いいゲームができた」

周りの方もストライクとスペアの連続ですごい得点がでたり、「あと1点で勝てるのに！」とチーム内でも大盛り上がりでした。
いつもは不参加だったり、後ろで見ていた方も、今回は参加してくださいって交流する事ができました。
ピンを倒した時やみんなとハイタッチをしている時、おしゃべりをしてる時がとても楽しそうでした。
ある利用者さんから「みんなボウリングは久しぶりです。こんなに大人数は大変ですね、楽しかったです。また参加したいです」と言ってもらえました。
この方はいくつも午前中のみのもので、1日いることは無かったのですが、この日は急遽ボウリングに参加したいとの事で、朝から帰りまで久しぶりにみんなと一緒に時間を過ごすことができました。

他のレーンに行ってお話をしたり、得点を報告しに行ったり、日常の事を話したり、自分はこの仕事をしてるんだよという話をしたり、お茶を飲む所でも「久しぶり、元気？」とおしゃべりできたり、プレー以外にも大盛りのボウリング大会でした。

発行
2018年4月18日
No. 3001
社会福祉法人
にりん草
東京都板橋区
大山金井町21-1
03-5926-8640
http://nirinsou.jp/

とくまる福祉作業所

入所式

就労継続支援B型の単独事業所として新たなスタートを切ったとくまる福祉作業所。4月2日、3名の新しい仲間を迎える入所式が行われました。



見慣れた作業室も紅白幕と花で華やいだ雰囲気。ちょっぴりおしゃべりをして利用者さんが並ぶ中、入所式が始まりました。

新利用者紹介から入所者証の授与、花束と記念品の贈呈、理事長からのお祝いのメッセージと続くと、見守るお母さま方も感慨深い様子でした。

入所式では、入所者証の授与、花束と記念品の贈呈、理事長からのお祝いのメッセージと続くと、見守るお母さま方も感慨深い様子でした。



その後、利用者によるお祝いの言葉、行事の紹介、仕事の紹介、クラブの紹介が行われまし

からおやま福祉作業所では、4月2日（月）に、午後1時半から入所式を行いました。今年は、板橋特別支援学校から、1名男性の方をお迎えしました。
入所式は、理事長や保護者の方も出席して行いました。入所者証・花束贈呈

おやま福祉作業所

おやま福祉作業所では、4月2日（月）に、午後1時半から入所式を行いました。今年は、板橋特別支援学校から、1名男性の方をお迎えしました。



クッキーハウス利用者募集

《あまーい幸せながおりでいっぱいです》

就労継続支援B型事業所としてクッキーを作っています
ただいま利用者大募集中



クッキーハウスCosmos

(社会福祉法人にりん草 とくまる福祉作業所分場)

板橋区高島平8-6-10

お問い合わせは 03-3936-8506 まで

た。利用者からも、仕事をがんばるとの話がありました。給食にはお祝い膳も出され、前途が期待される1日となりました。

はたらく生活介護 自分のペースで働ける

利用者募集中！

- 活動内容 簡易作業・音楽療法・ダンス等
- 場所 板橋区蓮根3-6-3
- 対象者 区内在住の知的に障がいがある、概ね18歳～55歳の方
- 休日 土・日・祝日・年末年始
夏季休暇(5日)

Point!
お給料と賞与がある！

Point!
手作りの給食を提供！

はずね福祉作業所のできる事

- 西台駅にとても近い。(徒歩5分)
- 誕生日に給食メニューをリクエストできる。
- 土に触れる活動(野菜・花等の家庭菜園)がある。
- 宿泊・バスハイクなど楽しいイベントがある。

見学随時可能！

詳しくは TEL: 03-3960-2861
はずね福祉作業所 担当 小池

アップ！支援力

2018年3月17日(土) 支援力向上を目的に『知的障害者支援の現場に必要なスキルと心構え』と題した職員研修が行われました。

この研修の目的は知的障害者支援の現場で必要となる基礎的な知識と関わり方の基本について学ぶものでした。講師として、矢口特別支援学校主任 教諭(特別支援教育士)スー パーバイザー)である川上康則氏にご登壇頂きました。



- ① 『物事が分かりにくい人の気持ち』が分かる支援者になろう
- ② わかりやすく示すことを構造化し『支援レベル』を意識して関わろう
- ③ 『感覚過敏』を正しく理解しよう
- ④ 『やり方』を求めるのではなく『あり方』を見直そう

- ⑤ 一人一人の『価値』を引き出そう
- ⑥ 認められる相手から『必要とされる』↓だから『がんばれる』
- ⑦ ほめ方・叱り方のコツは『短く、大きく』
- ⑧ 『お話し行動』動揺しないようにしよう
- ⑨ わかってあげられる支援者の存在が『二次的障害』を防ぐ
- ⑩ 『端的な説明・直接的な動作指示・視覚支援』を心がけよう

これらに沿って研修が進められ、知能指数(IQ)の構成から「熱心な無理解者」にならないように当事者視点を常に意識する事、利用者を変えようとするのではなく、この人の話は聞く価値があるというラポール(信頼関係)作りがかけよう

おおやま作業所 木更津旅行

みんなの楽しみ



3月8日(木)～9日(金)、千葉県の本更津まで一泊二日の旅行に出かけました。宿泊行事としては久しぶりにお母さんたちも参加です。みんなの楽しみみのひとつ『温泉』は、流れるプールのような巨大風呂や1億5千万円の純金風呂など種類も豊富で、1時間入っていても飽きないと語る利用者さん多いたほど。



ゲームで盛り上がり、グループや親子でカラオケも満喫しました。翌日は新鮮な魚介類を自分で焼いて食べるお店で昼食をとったあと、近くのアウトレットパークに寄り、そこでみんなので記念撮影、木更津を後にしました。



天気は2日間ともあいにくの雨でしたが、それでもお母さんや仲間たちと濃密な時間をゆったりと過ごせたことで、利用者さんの表情は晴れやかな笑顔に満ちていました。

ない事。苦手を強みにするリフレミング手法やお話し行動への対処法。ヘレンケラーの言葉である「人は、人の役に立ててこそ生きる喜びがある」等も紹介され、様々なスキルアップにつながる研修となりました。



また、今回の研修はただ、聞いていだけのものではなく、隣りの席の参加者と回答を話し合いペアワーク(グループワークの二人版)も交え全員参加型の研修会で堅苦しくない和やかなものでした。時間の関係で最後の方が少し押せ押せになったのは、もったいなく感じました。

法人全体会議

現場で自信を持って支援に臨むために必要な、障害理解、アセスメント力、関わり方・接し方を身に着ける事ができる内容の濃い研修でした。

社会福祉法人にりん草が主催する、平成29年度第2回法人全体会議が、3月17日午後、蓮根地域センターで行なわれました。



会議の内容として、前半は平成30年度の法人全体の動きの説明と、後半は各所からの現状と課題についての報告が行なわれました。

の高齢化などによって生まれてくる課題にどのように向き合っていくかの話がありました。

まへの福祉作業所からは、まへのの特徴である就労移行についての紹介があり、1人の利用者が企業に就職するまでのプロセスと、就労後の定着支援や利用者の補充の重要性や、同時にB型の授産もまわっていかねければならないといった事があげられました。

おおよま福祉作業所からは、1年の行事紹介や現在取り組んでいる地域との関わりが紹介されました。グループホームほか、相談支援センターからは利用者の健康状態の悪

とくまる福祉作業所、はすね福祉作業所、クッキーハウス合同の太鼓クラブ(就労継続支援B型チーム)が、平成30年3月4日、上板橋第一中学校を会場に行われた『板橋どんどこフェスティバル』に参加。「輝け囃子」「元氣一番太鼓」の2曲を披露しました。

どんどこフェスティバルは今年で9回目。もともとは民族歌舞団「荒馬座」をけいこ場としていた太鼓サークルの交流を目的に始められたものです。

どんどこフェスティバル



今回参加したのは他に「たんぼぼ」「どん舞奏鼓」「仲町太鼓クラブ・友紫組・鼓荒」。いずれも腕に覚えのあるサークルです。そのなかで、わが太鼓クラブはトップバッターをつとめました。



事業再編への交流事業として、はすね福祉作業所のメンバーがとくまる福祉作業所太鼓クラブ

習を重ねたいと思います。

化や高齢化の問題、人手不足による人材確保の難しさなどが取りあげられました。参加者は各所の取り組みなどについて真剣に話を聞いており、各所の知らなかった部分をお互いに知ることができた全体会議になりました。

こんな研修・講演会に参加しました 1月～3月

- 発達障がい者の就労支援手をつなぐ育成会連合会 事業所協議会研修大会
- 私たちの知らない自閉症の世界
- 障害者差別解消法について、法の概要とポイント

熊野まつりに出店します

クッキーハウスCosmosとおおよま福祉作業所は、5月20日(日)に開催される熊野まつりに出店予定です。オープニングには地元の子どもたちによる出し物が行われ、子どもが気軽に楽しめるお店も多く並ぶお祭りです。お時間のある方は、ぜひお越しください。場所:板橋区立第七小学校 販売商品:クッキー、せんべい、味噌、乾物、クラフトなど



自主生産品 絶賛販売中

まへの福祉作業所では、利用者で作った自主生産品の販売を作業所玄関先で、行なっています。主な商品として...



編集後記

新年度を迎え、にりん草の広報委員の顔ぶれにも変更がありました。でも、つい手に取って読みたくなる、楽しい紙面づくり、という目的には変わりはありません。今年度も、どうぞよろしくお願ひします。(KY)

